

第33回
人文学の
挑戦



田中 綾

北海学園大学人文学部教授
三浦綾子記念文学館館長

札幌市出身、2008年より北海学園大学勤務。2017年、三浦綾子記念文学館館長に就任。北海道新聞にて、2022年3月より1年間、三浦綾子とその夫光世を描いた『あたたかき日光』を連載、2023年に単行本化(北海道新聞社)。

『氷点』と『笑点』

三浦綾子と落語！？



林家つる子

落語家(一般社団法人落語協会真打)

群馬県高崎市出身、2010年に九代林家正蔵に弟子入り、古典落語の滑稽から人情斬、現代を舞台にした自作の新作落語にも取り組んでいる。2024年3月、落語協会として12年ぶり11人抜きでの抜擢真打昇進。落語の実力も折り紙つき、そのスター性から今後の活躍がますます期待される。
※当日15時～「第11回だるま寄席」@豊平区平岸2条4丁目ダルマホールに出演。

ひか

『あたたかき日光 三浦綾子・光世物語』刊行記念トークショー

第33回「人文学の挑戦」では、本学部教授田中綾の小説『あたたかき日光 三浦綾子・光世物語』出版を記念したトークショーを企画しました(サインも承ります)。ゲストに、本年抜擢で真打に昇進した林家つる子さんを迎え、『氷点』と『笑点』のユニークなつながりをプロローグに、三浦綾子を口述筆記で支え続けた夫・光世の日記をもとにした『あたたかき日光』の執筆秘話を振り返ります。

林家つる子師匠は、男性目線で作られてきた落語を女性目線で作り直すという大きな挑戦で注目され、公式YouTubeチャンネルも人気です。

その二人のお話を、三浦綾子ファンであり、「南平亭恵朝」の高座名で落語も披露しているHTBの大野恵アナウンサーが、楽しくサポートします。

【主催】北海学園大学人文学部 【共催】一般社団法人だるま十区、紀伊國屋書店札幌本店
【後援】北海道新聞社、HTB 北海道テレビ、三浦綾子記念文学館

司会：

大野 恵

HTB北海道テレビアナウンサー



千葉県成田市出身、2007年に北海道テレビ入社。朝の『イチモニ!』に出演後、現在は夕方の『イチオシ!!』で活躍中。趣味は、美術館巡り、舞台(落語、歌舞伎など)・映画・音楽鑑賞。世界遺産検定2級、教員免許(英語)も取得。高座名は「南平亭恵朝」。

2024年

5/18 [土]

12:30-14:00 (12:00 開場)

※参加は無料ですが、要事前予約(定員100名)

※参加希望者はQRコード、もしくは「お問い合わせ」先のメールアドレス宛にお申し込みください。

会場

紀伊國屋書店札幌本店

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル
1F インナーガーデン ☎011-231-2131

お問い合わせ

北海学園大学 人文学部英米文化学科 柴田 崇 shibata_ta@hgu.jp

参加無料

お申し込み

